

不具合事例

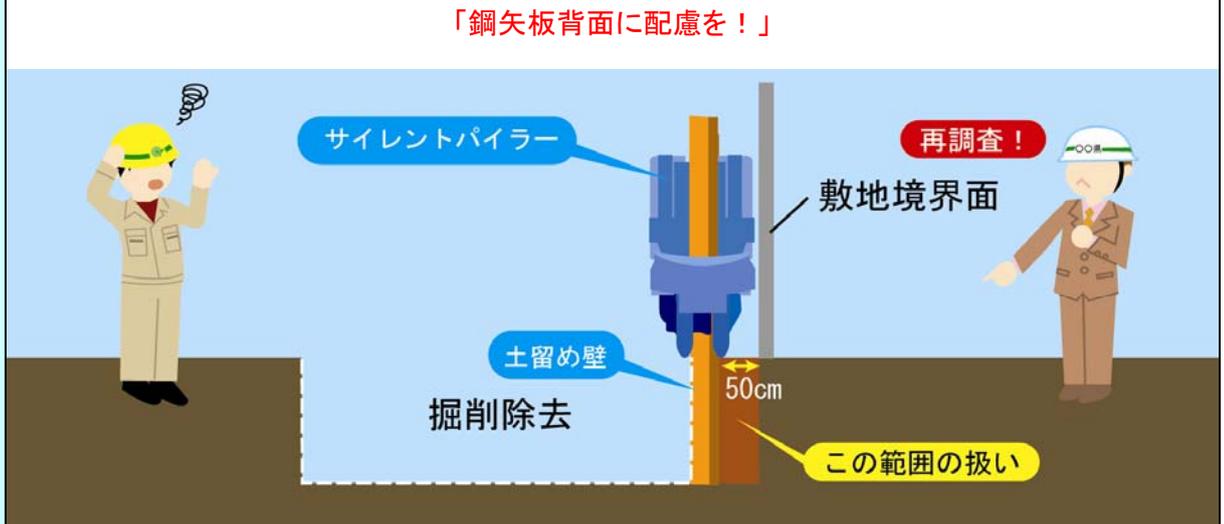
整理番号 T-06-005

タイトル	鋼矢板背面の土壌は取らなきゃいけないの？		
工種	<input type="checkbox"/> 調査 <input checked="" type="checkbox"/> 対策	フェーズ	<input checked="" type="checkbox"/> 計画 <input checked="" type="checkbox"/> 作業中
対象汚染物質	第一種・第二種・第三種特定有害物質		
土地履歴	<input checked="" type="checkbox"/> 宅地 <input checked="" type="checkbox"/> 工場跡地 <input checked="" type="checkbox"/> 特定有害物質使用工場 <input checked="" type="checkbox"/> その他		
説明図	<p style="text-align: center;">「鋼矢板背面に配慮を！」</p>		
作業内容	山留を伴う土壌汚染の掘削除去作業		
使用機器	鋼矢板圧入機(サイレントパイラー等), 鋼矢板打ち込み機 (バイブロハンマー等)		
不具合事項			
敷地境界まで汚染のある区画で掘削除去を行う為、鋼矢板での山留めを計画した。機械施工で鋼矢板を打設せざるを得ない為、敷地境界から幅 50cm 程逃がして鋼矢板を打設した結果、掘り残しが発生してしまった。			
予防措置(計画者・監督者・作業員)			
掘削のための鋼矢板打設を行う時は、施工方法や鋼矢板形状のため鋼矢板背面に掘れない部分が生ずる。そのため、計画の際には鋼矢板背面の掘れない部分に関して、事前に関係各所との打ち合わせが大切である。(計画者)			
応急措置			
・掘り残しの部分の調査・分析を行い、結果が出てから方針を検討する。(計画者・監督者)			
その他、留意事項			
・掘れない部分《土止め壁(鋼矢板)などの設置が必要な為》の土壌の取り扱いについて、事前に行政、発注者等とよく協議、取り決めをしておき、記録に残しておくこと。			
関連法規等、出典			
キーワード	敷地境界、鋼矢板		
発生頻度	<input type="checkbox"/> 多 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 少	重大性	<input type="checkbox"/> 致命的 <input checked="" type="checkbox"/> 重大 <input type="checkbox"/> 軽微

タイトル

鋼矢板背面の土壌は取らなきゃいけないの？

説明図



作業内容

山留を伴う土壌汚染の掘削除去作業

指示事項

- ・計画の際には鋼矢板背面の掘れない部分に関して、事前に関係各所との打ち合わせを行う。

どんな不具合が起こりうるか？

だから私たちはこうします

本日の重点施策

ヨシ!!

サイン